



### 山留壁リスト

位置	種類	長さ・数量	期間	工法
CASE-1(1)	鋼矢板	SP-III型 頭出し +0.500 L=5500 n=115枚	90日	ウォータージェット併用 油圧注入工法
	C3コーナー	頭出し +0.500 L=5500 n=1枚		
CASE-1(2)	鋼矢板	SP-III型 頭出し +0.500 L=5500 n=175枚	45日	埋殺し
CASE-2	鋼矢板	SP-III型 頭出し +0.500 L=5500 n=75枚		
CASE-3	鋼矢板	SP-10H型 頭出し +0.500 L=5500 n=27枚	200日	ウォータージェット併用 油圧注入工法
CASE-4	鋼矢板	SP-10H型 頭出し +0.500 L=8000 n=28枚		
CASE-5	鋼矢板	SP-10H型 頭出し +0.500 L=7500 n=33枚	100日	油圧式パイロハンマ工法
CASE-6	鋼矢板	SP-45H型 頭出し +0.500 L=10500 n=54枚		
CASE-7(1)	鋼矢板	SP-III型 頭出し +0.500 L=9500 n=252枚	200日	ウォータージェット併用 油圧注入工法
	C3コーナー	頭出し +0.500 L=9500 n=3枚		
CASE-7(2)	鋼矢板	SP-III型 頭出し +0.500 L=9500 n=133枚	100日	油圧式パイロハンマ工法
CASE-8	鋼矢板	SP-III型 頭出し +0.500 L=7000 n=41枚		
	柵	H250X250X9X14 L=8500 n=28本		

### 場内コン杭撤去リスト

処置	記号	杭径	本数	備考
撤去	○	1400φ	6	・全周回転式 オムロン工法 にて撤去 ・杭先端深さ=GL-16500 ・立駐ホリク調査の 位置は不明。
	●	1200φ	5	
	◐	1100φ	5	
	◑	900φ	9	
存置	○	900~1200φ	6	

注 ( )内は基礎下端レベルを示す。  
特記なきものはGL-1750とする。  
杭先端深さは全てGL-16.50m  
真行寺設計GL

### 山留支保工材料表

1段目	
腹起	H400X400X13X21
切梁	H350X350X12X19
火打ブロック	35HB
隅火打	H400X400X13X21

前面道路 50,000  
国道190号線(常盤通り)  
至る中央町

(宇部市常盤町一丁目)

至る松山町

※図面内容はあくまでも参考です。